

研究課題名：	薬剤性過敏症症候群(DIHS)診療ガイドライン作成のための疫学調査
所属(診療科等)：	公立昭和病院 皮膚科
研究責任者(職名)：	鈴木 大介 (部長)
研究期間：	2021年3月23日～2024年3月
研究目的と意義：	薬剤性過敏症症候群は重症薬疹の1つで、抗けいれん薬などの限られた薬剤が原因になり、経過中に重篤な合併症を生じることが知られている。2013年に実態把握のための全国調査が行われたが、7年が経過し、原因薬剤や重症の程度および後遺症に関する新たな知見が次々と報告されている。また、治療に関する情報の収集がこれまでの調査では不十分であったため、治療についての調査を行う必要がある。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さん 2017年1月から2019年12月までに当院において、薬剤性過敏症症候群と診断された患者さんを対象とする。</li> <li>●利用するカルテ情報 診断名、身体所見、検査結果、診療についての記録等</li> <li>●研究方法 診断基準、患者基本情報、被疑薬及び投与期間・原因薬剤検索、臨床症状及び検査所見、重症度スコア、合併症、ウイルス学的検査、治療・転帰、自己免疫疾患及び後遺症等について後ろ向きに検討を行う。</li> <li>●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院、杏林大学医学部皮膚科</li> </ul>
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：鈴木 大介 (皮膚科医師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052(代表)      FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線2247 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p>